

芥川龍之介生誕 120 周年記念座談会

「河童忌」(7月24日)を前に芥川龍之介を偲ぶ。

本所・両国は芥川龍之介の生育の地であり、彼が幼年期に遊んでいた回向院の境内だった所に劇場シアターXはある。ちょうど 20 年前の 1992 年、シアターXは『ヴィトカツツイのびっくり箱』のタイトルで、現代芸術の先駆者でポーランドの鬼才ヴィトカツツイの演劇やパフォーマンス、映像、写真、絵画などを日本初の本格的な紹介をした際、特別企画として「時代の交差点——芥川龍之介とヴィトカツツイ」の映像を上映した。作品の内容は、日本とポーランドそれぞれの国で鬼才と呼ばれる芥川とヴィトカツツイは、時代の大きな転換期のさなか、一方は台頭するモダニズムへの懐疑と否定、片や既に行き詰まったそれへの絶望と破壊を意図した。「不条理」「超現実」「怪異趣味」などの作品を残し、共に自殺し果てている。この二人のエピソードを軸に構成された映像。



芥川龍之介 ヴィトカツツイ

2012年 7月22日(日) 14:00~17:00 (料金:500円)

劇場 東京・両国 シアターX(カイ)

◎映像 『時代の交差点』——芥川龍之介とヴィトカツツイ(構成・監督 龍村仁)

◎座談会 芥川龍之介と両国

出席者 本多宏子(回向院・両国幼稚園園長)
黒井千次(作家)
安藤公美(青山学院女子短期大学兼任講師)
川本恭子(墨田区教育委員会文化財担当)
神田由美子(東洋学園大学教授)
東雅夫(怪談専門誌『幽』編集長)
井田邦明(新作オペラ『地獄変』演出)ほか

◎ピアノ演奏 ロネン・シャピラ(作曲家・ピアニスト)

曲目 ショパン「幻想即興曲」、シャピラ「from here from there」

◎緑図書館主催 ミニ文学展 6/30~7/23

◎墨田区役所主催 『芥川龍之介—こころのふるさと—本所両国』
パネル展 7/31~8/19 墨田区役所1階
企画展 8/11~15 江戸東京博物館1階会議室
講演会 8/12 江戸東京博物館1階ホール(神田由美子さん)

◎墨田区内の芥川龍之介の詩碑などの紹介

◎シアターX創立 20 周年記念企画 新作 オペラ『地獄変』 8/10 金・11 土・12 日
原作 芥川龍之介 作曲 ロネン・シャピラ 演出 井田邦明 (料金 千円)